

WEB取引を活用して世界各国の企業へ販売！

(ツキオカフィルム製薬 株式会社)

会社概要(平成24年11月現在)

- 所在地:岐阜県各務原市テクノプラザ
2丁目11番地
- 代表者:代表取締役 月岡忠夫
- 資本金:1億4,250万円
- 売上高:12億3,800万円
- 従業員数:129名
- URL:<http://www.moonhill.jp/>

①事業概要

<金属箔製造販売等>

同社は金・銀・ホログラム箔押加工、水溶性可食フィルム製造販売、化粧品、医薬部外品製造販売、医薬品製造販売、食用純金箔粉製造販売、フィルム製剤製造販売を行っている。

金属箔を熱転写で印刷する箔押しでナンバーワン企業。食用純金箔粉は世界主要国の特許を取得している。またフィルム製剤の医薬品製造販売業の認可を受け多角化を図っている。産学協同で、臓器の癒着防止ナノフィルム、化粧用のパックフィルムを開発した。現在箔押し事業が売上の6割を占めているが、グローバル展開を図り、フィルム関係の売上を7割まで高めたいと考えている。

②海外展開概要

<インド、販路開拓、工場設立>

平成23年、当社のインターネットを見たインドの電力系財閥から食品防腐用銀箔(インドでは食品を銀箔で包む習慣があり量産化が望まれていた)の商談を受け、合併会社を設立し工場を立ち上げた。機械設備投資とシステム技術支援を行い、売上に対しロイヤリティを受け取る。同社の製法を活用することにより銀箔の量産が可能となり、インド市場を席卷できる可能性がある。

③取組の重点(活用した支援策を含む)

同社は、WEB取引を活用したB to Bによる直接営業によって、高品質な技術を求める企業へダイレクトにPRする海外販路開拓を進めている。海外ではそれぞれの国に法規制があるため、その法規制に対応できる企業との取引が必要である。こうした企業を選定するために、WEB検索上でのキーワードに工夫している。医薬品、医薬部外品、化粧品については、差別化された商品であり、世界で同社しか供給できない技術があることから、価格競争力もあり、安全面や衛生面に配慮して、日本で生産、包装して輸出する。特殊技術があり高付加価値のある商品は、日本で生産し輸出しても現地で十分価格対抗できる。

④今後の事業展開について

今後の世界各国への事業拡大のために、人材確保を進めている。中国では、販売法人を設立し、責任者を現地採用しアンテナショップを開設。インドネシアのハラル製品の販売の為、展示会へ積極的な出展など営業活動を行っている。駐在員事務所または販売拠店の設立を検討中。世界中の多種多様な製薬業界からの受注も具体化している。また、自社のコア技術のアイデアを生かした新商品開発や、事業分野の多角化を図るとともに、大学との産学共同研究により商品開発力をつけていく。

▼ 食用純金箔



▲ 可食フィルム

(平成24年11月現在)

データ出所: 中部経済産業局